

交通安全協会吉永分会 優秀な交通安全標語を表彰

富士地区交通安全協会吉永分会は、地域内の交通事故防止と交通安全のため、小学生と父兄がいっしょに考えた交通安全標語を募集しました。標語は・子供老人向け・一般歩行者向け・運転者向けの3部門で、親と子の力作が寄せられました。

関係者によって審査し、各部門ごとに金・銀・銅賞を決め、

入選作の発表と表彰を運動会で行いました。

■子供老人向け

(金) どうろへの とびだししない ぼくきめた

(銀) 早くでて ゆっくりゆこう がっこうへ

(銅) 忘れもの 急いでもどれ

ば 事故のもと

4年 山田麻起子

■一般歩行者向け

(金) 手をはなし 事故にあって泣くよりも 泣いてもはなすな子供の手 3年 斎藤靖

(銀) もう少し 待てば渡れる 横断歩道 6年 太田剛徳

(銅) ゆづり合う 心と心にえびす顔 1年 にとうようこ

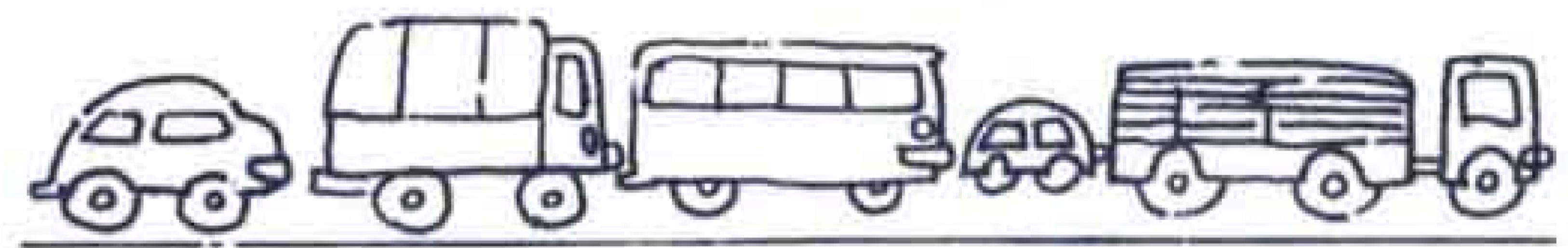
■運転者向け

(金) 夜中でも 交通規則は 眠らない 2年 なかむらしげる

(銀) 車さん ぼくのあげた手よく見てね 1年 まのひとし

(銅) おじさん 気をつけてぼく死にたくない

4年 長谷川康徳



おたずねしまよ

卸売市場で扱う生鮮食料品（特に青果物）の流通が大きく変わっていますが、どうしてですか。

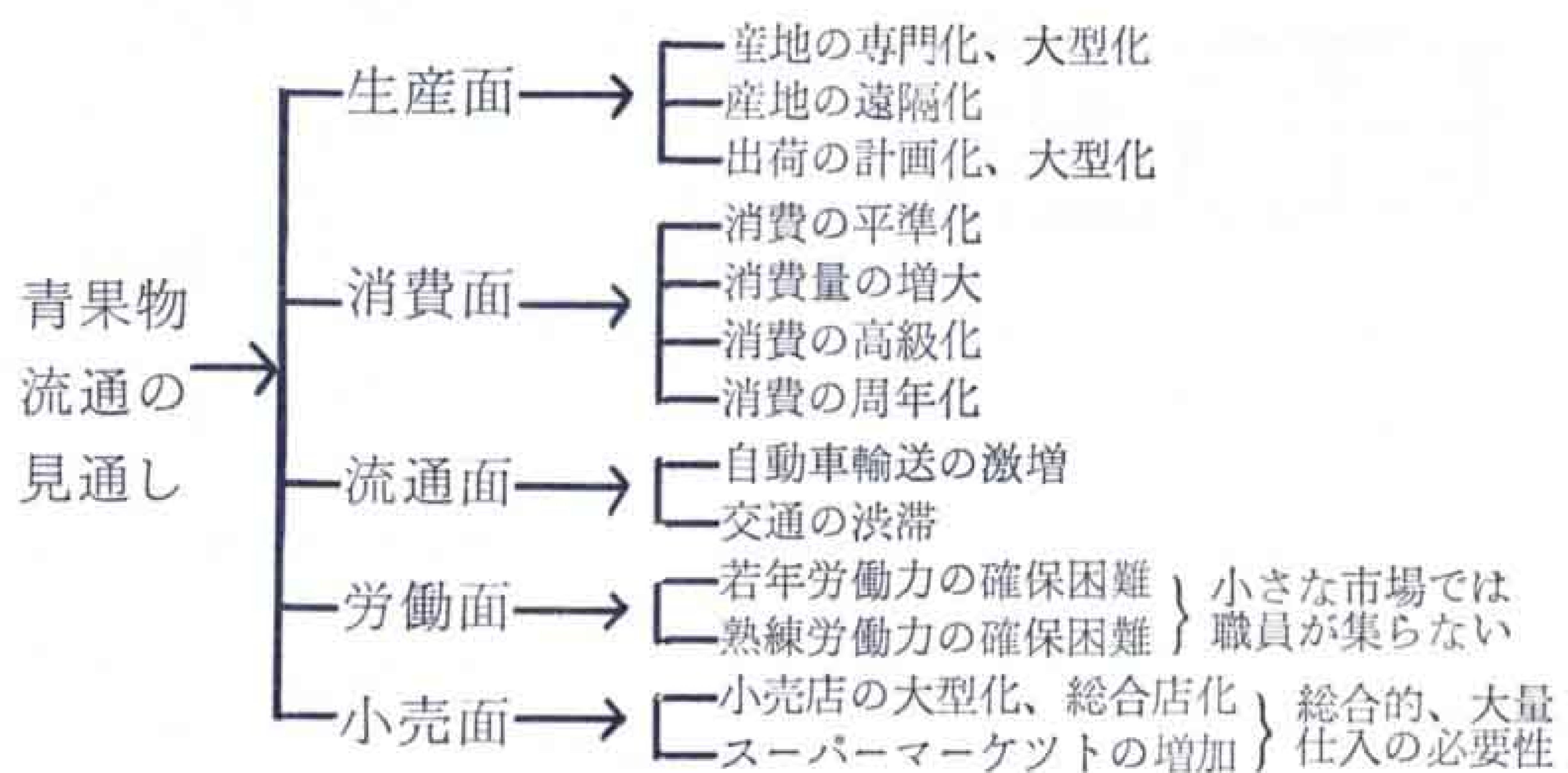
トやチェーンストアに買物客がふえています。

の消化や、時代とともに変わってきた消費者好みに十分対応できなくなっていました。

一方、小さな市場では若い人が集まらず自動車による能率的な農産物

答 農業もだんだん変って、産地では農産物の専門化や大型化がすすんでいます。また、生活水準が高くなつて消費生活も高度になっています。

最近は、いろいろな種類の品物がたくさんそろったスーパーマーケッ



献血はあなた自身をまもります